

## 滋賀医大病院ニュースTOPICS Vol.55 (2010/9)

著者	滋賀医科大学広報委員会
発行年	2010-09
その他の言語のタイトル	滋賀医大病院ニュース第28号別冊
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10422/2229">http://hdl.handle.net/10422/2229</a>

## TOPICS

[Vol.55]

## 発達障害ってよく聞くけれど？

小児科 澤井 ちひろ

## 発達障害ってなに？

あなたの周りに、こんなお子さんはいませんか？周りが気になって授業に集中できない、板書を書き写せない、順番が待てない、急に予定が変わると混乱する、場の雰囲気をおよむことが苦手、こだわりが強い、このような姿は、誰でも少しは当てはまりそうですが、どうでしょう？

子どもたちは大きくなるにつれて、運動能力、考える力、言葉や表情を理解する力、大切なことに注意を向ける力、我慢して行動をコントロールする力などを、身につけていきます。この

ような発達に遅れや凹凸があって、本人や周りの人が困っている場合に、支援が必要だという意味をこめて「発達障害」と言います。主に「学習障害」「注意欠陥多動性障害」「広汎性発達障害」の3つがあげられます。

これらは一人の子にいくつか重なっている場合もあります。発達障害をもっているにも見た目にはわかりにくい

ため、これまでは「育て方のせい」「しつけがなっていない」と思われることが多かったのですが、最近では生まれつきの脳機能の問題であるということがわかってきました。



## 3つの発達障害

- ・学習障害
- ・注意欠陥多動性障害
- ・広汎性発達障害  
(自閉症やアスペルガー症候群を含む)

## 発達障害の種類

## ○学習障害 (LD)

他の子と比べて知的には遅れないのに、学習場面で「読む」「書く」「計算する」のどれか特定のことが苦手な状態を示し、「聞く」「話す」「推論する」ことの苦手さを含む場合もあります。英語のLearning Disabilitiesを略してLDとも言われます。目や耳から入ってくる情報をまとめたり、判断する機能に障害があると考えられています。

## ○注意欠陥多動性障害 (ADHD)

Attention Deficit Hyperactivity Disorderの頭文字を表し、不注意や多動、衝動性が就学前から明らかに目立っている子どもたちです。行動をコントロールしたり、状況を判断する脳機能が十分でないことから、ドパミンやノルアドレナリンといった神経伝達物質の働きが不足しているためと考えられています。



## ○広汎性発達障害

人との関係づくりや言葉の理解が難しい、コミュニケーションをとるのが苦手、いつも通りを好み予定外のことに弱いという特徴が3歳前からみられます。発達の広い領域に障害をもつことから、広汎性発達障害とされます。

その中核となるのが自閉症です。「自ら閉じる」と書くので孤独なイメージがありますが、人懐っこかったり積極的な子もいます。

アスペルガー症候群は知的な能力と言葉には遅れないタイプの広汎性発達障害で、最初に論文発表したドイツの小児科医ハンス・アスペルガーの名前に由来します。

最近ではこれらの広汎性発達障害を、自閉症との連続体を意味する「自閉症スペクトラム」とまとめて呼ぶことが増えてきました。物事のとらえかたや感情を司る脳機能が他の人と異なると考えられています。



## 発達障害かなと思ったときは

子どもの発達について気になったときは、身近なところで相談することができます。

保育園・幼稚園や学校では、担任・特別支援教育コーディネーターが窓口

になります。校内委員会では子どもの状態、指導方針が話し合わせ、教育センターや専門家と連携することもあります。保健センター、発達障害者支援センターなどでも相談することができます。

ます。

医療が必要であれば、小児科や児童精神科で診断や薬の処方を受けることができます。

## 病院ではどんなことをするの？

発達障害の診断は、子どもとの面接や小さいときの様子の確認、学校や家庭での情報をもとに行われます。てんかんや神経の病気、貧血、甲状腺ホルモンの異常などで不注意や多動を示すことがあり、身体的な病気を見逃さないことが大切です。

薬物治療は、子どもの支援の一つとして必要な場合に行われます。ADHDでは神経伝達物質のバランスを整える薬（コンサータ<sup>®</sup>、ストラテラ<sup>®</sup>）が使われます。イライラを和らげたり気分を安定させる薬が用いられることもあります。発達障害の子どもには睡



眠リズムの乱れやチック、夜尿などを伴うことがあり、それらについても相談できます。

## 周りの大人ができること

学習面の苦手さをもつ子どもは、努力が足りないと思われ自信を失いがちです。このような場合にはやみくもに練習させるのではなく、その子に合わせた教え方の工夫や教材の配慮が必要になります。



不注意や多動が目立つ子には、集中しやすい環境を整え、不要な刺激を減らすことが大切です。厳しく叱ってもあまり効果はありません。良いところはほめ、指示を出す場合は「短くわかりやすく」を心がけます。子どもが自分自身で行動をコントロールできるようになることが目標です。

コミュニケーションの苦手な子は、性格に裏表がなく真面目、興味のあることには一途といった長所もあります。説明は具体的に伝え、手順は見えてわかるように示して見通しがたちやすいようにします。



発達障害の支援は、子育てそのものです。治すことが目的ではありません。家庭や地域社会で子どもは育っていきます。一人一人の特性を理解し、診断があってもなくても、その子に合わせた支援を行うことでより良い生活が送れるようになります。

### 滋賀医科大学医学部附属病院 理念

#### 「信頼と満足を追求する全人的医療」

滋賀医大病院ニュース第28号別冊

編集・発行：滋賀医科大学広報委員会  
〒520-2192 大津市瀬田月輪町  
TEL：077(548)2012(企画調整室)

過去のTOPICS(PDF版)はホームページでご覧いただけます。

### ●理念を実現するための 基本方針

- 患者さん本位の医療を実践します
- 信頼・安心・満足を与える病院を目指します
- あたたかい心で最先端の医療を提供します
- 地域に密着した大学病院を目指します
- 世界に通用する医療人を育成します
- 健全な病院経営を目指します